

豊かな自然と多様性の象徴 守ろう恵みのふるさと赤城の森

●力を合わせて守る赤城の森
赤城山の森林の整備は富士見林班のような行政だけでなく、県トラック協会やネットヨタ群馬、AGF、富士通フロンテックシステムなどの民間の力、7月31日に地域連携DMOとして登録された赤城自然塾など、多くの団体の協力によって行われています。



森林が災害から皆さんを守ります

赤城山の森林は国・県・市だけでなく、民間の事業者も管理しています。手付かずの原生林でなく、人の手が入った人工林は、管理しないと森が荒れてしまいます。森が荒れると保水機能を失い、大雨の時に洪水や土砂崩れが起こる危険性が高まります。裏を返せば、水害や土砂災害を防ぐためには森林を適切に管理し、守っていくことが大切なのです。



赤城南麓森林組合 星野 英史さん



●前橋産の木材を使いませんか
森林を守るためには、木を植え育て伐採し活用する、循環を維持することが大切です。
本市では学習机や椅子、粕川小の校舎などで前橋産の木材を活用しています。
また、最近流行しているDIYで、前橋産の木材を使って世界に1つだけの自慢の家具などを

木質燃料ストーブ購入を補助

木質燃料ストーブの購入費を補助。森林資源の活用促進や木材のエネルギー資源としての利活用を進めます。対象は、大胡・宮城・粕川・富士見・芳賀地区の居住者。まきなどを燃料とする暖房機本体と煙突の購入費に対して補助金を交付します。予算額になり次第終了。詳しくは問い合わせてください。

補助金額=購入費の半額(上限25万円)

☎ 赤城森林事務所 ☎027-285-4116



篠原木材 篠原 祐次さん

作ることもできます。市内の材木店では前橋産のスギやヒノキなどを取り扱うお店も。DIYをするときは選択肢に加えてみてはいかがでしょうか。

昨年5月、前橋・赤城地域(芳賀・大胡・宮城・粕川・富士見地区の一部)がスローシティ国際連盟に加盟。豊かな自然やその土地に根付く独自の文化・個性、それらの多様性の大切さを見直す大きなきっかけとなりました。
出掛けたときに、大体の方角や今いる場所を、赤城山を見て判断する人は多いのではないのでしょうか。子どもたちを見守る母のように、赤城山は私たちにとって身近な存在です。
私たちが普段利用する水道水のおよそ3割は赤城山地下水系。前橋の水は「赤城の恵」ともいえます。このおいしい水は山からやってきます。山に生えた木々には保水機能があり、深く張り巡った根は土砂崩れを防ぐなど、防災にもつながっているのです。

☎ 赤城森林事務所
☎027・285・4116